

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月22日更新

事務事業名		校舎等施設修繕事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智	
	施策	9	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	吉田 夕佳	
	施策の柱	36	義務教育施設の整備	所属班	総務施設班	(内線)	5312	
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番	10719 他	根拠法令
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	学校施設の維持向上のため修繕工事等を行う。毎年、不具合が生じている学校施設の復旧を行っており、当然必要なものである。特別な変化はない。また、校舎の長寿命化を図るため、調査・設計・改修工事を行った。
【業務の流れ】	設計委託業者を決定後、学校の要望等を確認しながら実施設計を完成させる。その後、実施設計を基に工事発注を行い、修繕工事等を実施した。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費。
【意見や要望】	特にはない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)		5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【共通】市全小中学校の施設修繕工事のため、学校施設点検、工事監督等に必要な公用車のガソリン代等を支出した。また、合志中学校駐車場として近隣民有地を借り上げ駐車場の確保を行った。 【小学校】西合志南小学校プール通過設備修繕工事、西合志第一小学校体育館外壁改修工事、合志橋の森小学校車止め設備工事等が完了し工事を完了した各学校の学習環境が向上した。また、西合志南小学校プール改修工事実施設計業務委託、西合志中央小学校増築工事実施設計業務委託を行い、学校施設改修・増築設計図書を完成させ、学習環境向上のための施設改修・増築工事発注準備を整えた。 【中学校】西合志南中学校調整池掘り工事を実施し、学校敷地内の雨水排水が近隣道路等へ逆流している状況を改善した。合志中学校特別教室棟長寿命化改良工事を行い、老朽化した校舎躯体の改善はもとより、生徒の学習環境を現在の教育内容に合ったものに改善した。西合志中学校特別教室棟増築工事を実施し、生徒数に対して不足していた理科室及び視聴覚室を整備し、学習環境を向上させた。		市内小中学校の施設修繕工事等に関する事務を行う。 校舎の長寿命化を図るため計画をたて設計を行っていく。また児童数増加に伴う教室不足解消のため校舎増築工事を行っていく。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 工事件数	件	【共通】 公用車燃料費単価増、車検手数料の増による事業費の増 【小学校】 教室不足による増築工事等に伴う事業費の増 【中学校】 令和4年度に長寿命化改良工事等が完了したことによる事業費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内小中学校の施設、施設利用者。	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 校
		→ ア: 学校数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な状態に復旧する。 学校施設の長期利用が出来るよう改修を行う。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 校
		→ ア: 修理を行なった学校数
		→ イ: 修理を行なった学校の復旧割合
		%
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
市内12校の修繕等の工事を行い、適正な状態に復旧するため。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込	
① 活動指標	ア	件	22	26	15	46	15	15	15	15	
	イ										
② 対象指標	ア	校	10	12	12	12	12	12	12	12	
	イ										
③ 成果指標	ア	校	10	12	12	12	12	12	12	12	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	1,000		128,142	91,993	108,190	253,661	202,300	94,900
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	1,400	4,500	243,200	225,600	129,600	524,022	579,200	325,600
		その他	千円								
		繰入金	千円					400,300			
	(A) 事業費計	一般財源	千円	12,229	39,269	39,554	132,576	221,332	174,779	162,361	78,602
		(A)のうち指定経費	千円	14,629	43,769	410,896	450,169	859,422	952,462	943,861	499,102
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	116	116	116
		人件費	正規職員従事人数	人	3	3	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	3,278	3,278	3,900	2,894	3,900	3,900	3,900	3,900	
	(B)人件費計	千円	12,925	12,816	15,537	11,014	15,537	15,537	15,537	15,537	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	27,554	56,585	426,433	461,183	874,959	967,999	959,398	514,639	

事務事業名	校舎等施設修繕事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 実施設計を行い、修繕等の工事を発注する予定である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 実施設計を行なっているため、現状維持が妥当である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に方法が無く、妥当である。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正な規格や品質があり、それらを実施設計の中に反映している。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校は公共施設であり、施設の安全確保は当然の義務である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門性の高い業務であるため、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

施工業者を決定し、市内小中学校の修繕等の工事を行うことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																							